

伝統を再現する
叡智と技

正倉院 宝物 を受け継ぐ

明治天皇に始まる宝物模造の歴史

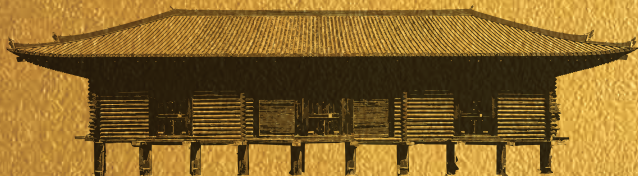
令和5年12月23日 [土]

令和6年 2月25日 [日]

[休館日] 木曜日 ※1月4日は開館

[開館時間] 午前10時～午後4時30分まで
(入場は閉館の30分前まで)
初詣期間中、開館時間を延長する場合がございます。

主催：「正倉院宝物を受け継ぐ」展実行委員会
特別協力：明治神宮
協力：読売新聞社、TOPPAN、乃村工藝社、リクルート、
ABCアーキ、ヤマト運輸
監修：宮内庁正倉院事務所
後援：国土交通省関東運輸局、東京都



明治神宮
ミュージアム

明治神宮ミュージアム

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町1-1
<https://www.meijijingu.or.jp/museum/>

出品作品はすべて再現された模造です。

[電話] 03-3379-5875
[公式X(旧Twitter)] @Meiji_Jingu_M

MEIJI JINGU MUSEUM

新型コロナウイルス感染症の状況により、会期が変更になる場合がございます。最新の情報は展覧会公式サイトでご確認ください。

正倉院宝物は、光明皇后が聖武天皇の御遺愛品を東大寺の盧舎那仏に捧げられたことに始まります。その品々には、東西アジアの文化交流が色濃く反映されており、正倉院は「シルクロードの終着点」とも言われます。また、その保存状態の素晴らしさから、世界的にも奇跡と呼ばれています。しかしながら、約1300年以上経った宝物は脆弱であり、明治10年(1877)に明治天皇が奈良に行幸し、正倉院宝物を天覧された際には毀損しているものが少なくありませんでした。そこで天皇はそれらの整理と、特に破損の激しかった楽器類の修理を命じたことが『明治天皇紀』に記載されています。そしてこれが、現代まで続く正倉院宝物の修理や模造製作の第一歩となったとされています。本展は、模造品を通じて、宝物を守り伝える大切さ、再現するための技術や最新の研究成果を紹介します。



模造 紅牙撥鏝

裏



模造 漆彩絵花形皿



模造 酔胡王面



模造 螺鈿槽篋



模造 瑠璃魚形



模造 紺玉帯



模造 呉楽 笛吹襪



模造 螺鈿箱

出品作品はすべて再現された模造です。会期中、一部作品の展示替えを行います。

チラシ表面の作品は右より、模造 螺鈿紫檀五絃琵琶、模造 金銀細粧唐大刀(いずれも宮内庁正倉院事務所蔵)

【観覧料金(税込)】

一般1,500円

高大学生1,000円

※中学生以下無料

※障がい者手帳をお持ちの方はご本人様のみ無料

※明治神宮崇敬会会員は無料

※学生の方は入場の際、学生証を提示ください



明治神宮ミュージアム

【アクセス】

- ・JR「原宿」駅表参道改札西口から徒歩5分
 - ・東京メトロ千代田線・副都心線
「明治神宮前(原宿)」駅2番出口より徒歩5分
- ※明治神宮ミュージアムは明治神宮境内に
ございます。

〒151-0052

東京都渋谷区代々木神園町1-1

【展覧会公式サイト】

<https://shosoin-meijijingu.jp/>



※新型コロナウイルス感染症の状況により、会期が変更になる場合がございます。最新の情報は展覧会公式サイトでご確認ください。